

令和4年度

入学者募集要項

入学案内



今後、新型コロナウイルス感染症等の流行の状況により、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令される等の状況が発生した場合、本校募集要項等を見直し、変更する場合があります。変更する場合はできる限り早期に決定し、国立高等専門学校機構及び群馬工業高等専門学校のホームページ等にて周知しますので、必ずご確認ください。

国立高等専門学校機構 URL : <https://www.kosen-k.go.jp/>

群馬工業高等専門学校 URL : <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

独立行政法人 国立高等専門学校機構

群馬工業高等専門学校

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地
TEL 027-254-9060 (学生課教務係)
FAX 027-254-9080 (学生課)
URL <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

令和4年度群馬工業高等専門学校入学者選抜実施日程

推 薦	願書受付期間	令和4年1月5日(水)～1月7日(金)
	面接実施日	令和4年1月20日(木)(予備日：1月21日(金))
	推薦合格内定通知日	令和4年1月25日(火)(郵便発送)
	入学確認書提出日	出願時
一般 帰国子女特別	願書受付期間	令和4年1月25日(火)～1月26日(水)
	学力検査日	令和4年2月13日(日)
	入学確認書提出日	単願：出願時 併願：令和4年3月9日(水)
合格者発表日(推薦、一般、帰国子女特別)		令和4年2月16日(水)
入学手続関係書類交付期間		令和4年2月16日(水)～18日(金)
入学手続日		令和4年3月9日(水)

- ※ 推薦入学者選抜に不合格となった者は、改めて出願書類等を提出することなく、一般入学者選抜、又は帰国子女特別選抜の志願者となります（3ページ及び5ページ参照）。
- ※ 天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。
- ※ 新型コロナウイルス感染症等に罹患、又は罹患している疑いがあり、当初日程の試験を受験することができない受験生は、「追試験」を受験することができます。追試験については、募集要項の6ページ、10ページ、15ページをご確認ください。

目 次

- 令和4年度 入学者募集要項……………1～17ページ
- 入学案内等……………18～27ページ

この要項には、出願に必要な以下の書類が添付されています。

令和4年度群馬工業高等専門学校入学願書・写真票・受験票・「振込通知書」提出票、
調査書、推薦書、入学確認書（単願用）、入学確認書（併願用）、振込通知書・
振込金領収証書・振込依頼書、受験票返送用封筒、あて名票、出願用封筒

☆個人情報の取扱いについて

志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている個人情報及び選抜に用いた成績・評価等入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用とともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導及び課外活動
- (2) 入学料・授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金の申請審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

令和4年度 入学者募集要項

1 概要

学科名	募集人員	備考
機械工学科	40名	「推薦入学者選抜」の募集人員は、各学科とも募集人員の50%程度とします。
電子メディア工学科	40名	「帰国子女特別選抜」の募集人員は、各学科とも若干名とします。
電子情報工学科	40名	
物質工学科	40名	
環境都市工学科	40名	

2 入学者の選抜方法

入学者選抜は、推薦入学者選抜、一般入学者選抜、帰国子女特別選抜によって行います。
推薦入学者選抜は、学力検査を免除し、面接、中学校等の校長からの推薦書及び調査書に基づき行います。
一般入学者選抜は、学力検査及び中学校等の校長からの調査書に基づき行います。
帰国子女特別選抜は、学力検査、面接、中学校等の校長からの調査書に基づき行います。
※新型コロナウイルス感染症等の流行の状況により、選抜方法が変更となる場合がございます。その場合には本校ホームページに情報を掲載します。

3 出願資格

〔推薦入学者選抜〕

推薦入学者選抜に出願できる者は、次の各号のすべてに該当する者で在籍中学校等の校長の推薦を受けた者とします。なお、推薦できる人数には制限はありません。

- (1) 令和4年3月に中学校若しくは義務教育学校を卒業見込みの者、又は中等教育学校前期課程若しくは文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者
- (2) 人物が優れていて、志望学科に対して適性及び関心を有し、本校への入学意志が強固な者（合格した場合は必ず入学するものとし、不合格となった場合には、学力検査を受験し、その結果合格した場合は必ず入学する意志のある者）
- (3) 中学校等第2学年と第3学年の国語、社会、数学、理科、英語の5教科の評定値の合計が、5段階評価で42以上であること。
ただし、10段階評価の場合は、次の換算表により10段階評価の評定値を5段階の数値に置き換えた上で、5段階の合計値を算出してください。

10段階	10・9	8・7	6・5	4・3	2・1
5段階	5	4	3	2	1

なお、5段階、10段階以外の方式による評価の場合には、本校学生課教務係へお問い合わせください。

〔一般入学者選抜〕

- 一般入学者選抜に出願できる者は、次の各号の一つに該当する者とします。
- (1) 中学校又は義務教育学校を卒業した者又は令和4年3月卒業見込みの者
 - (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和4年3月修了見込みの者
 - (3) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者又は令和4年3月修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和4年3月修了見込みの者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
 - (6) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和四十一年文部省令三十六号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
 - (7) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

〔帰国子女特別選抜〕

- 帰国子女特別選抜に出願できる者は、日本国籍を有する者及び永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた者（海外在住期間が中学校に相当する課程において通算2年以上の者で帰国子女特別選抜を実施する年度の前年度の4月以降の帰国者）で、次の各号の一つに該当する者とします。
- (1) 中学校又は義務教育学校を卒業した者又は令和4年3月卒業見込みの者
 - (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和4年3月修了見込みの者
 - (3) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者又は令和4年3月修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和4年3月修了見込みの者

帰国子女特別選抜に出願する者は、出願資格等を確認しますので、必ず令和3年11月26日（金）までに本校学生課教務係へ連絡してください。事前連絡のない出願はできません。なお推薦入学者選抜の出願資格を満たしていれば、推薦入学者選抜に出願することも可能です。

4 新型コロナウイルス感染症等に関する対応について

①試験を受験できない者

新型コロナウイルス感染症等に罹患又は罹患している疑いがある者は受験できません。

②追試験の実施

①の理由により受験できなかった者は、所定の手続（6ページ、10ページ、15ページ）により、追試験を受験することができます。

③試験当日における、感染拡大防止のための注意事項

試験当日は、各自マスクを持参し、監督者の指示がある場合以外は常に着用してください。

休憩時間や昼食時等における他者との接触、会話を極力控えてください。

また、検査室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参してください。

食堂の営業等は行わないため、昼食を持参し、自席で食事をとってください。

推薦入学者選抜について

1 願書受付期間

令和4年1月5日（水）から1月7日（金）まで（1月7日（金）必着）

2 出願書類

提出書類等	摘要
入学願書・写真票・受験票 ※1※2	本校所定の用紙を用い、必要事項を記入してください。なお、入学願書及び写真票の所定の欄に写真をはり付けてください。
検定料 ※3※4※5	検定料16,500円を※3及び※4に従って銀行又は郵便局（ゆうちょ銀行）より振込を行った後、銀行取納印の押された「振込通知書（提出用）」又は「振込依頼書（お客様控え又は複写）」（ゆうちょ銀行）を「振込通知書」提出票にはり付けてください。
調査書	本校所定の用紙又は群馬県教育委員会の定める様式を用い、在籍中学校等の校長が作成・厳封してください。埼玉県内の中学校等に在籍している方は、埼玉県教育委員会の定める様式でもよいものとします。その他の地域の場合は本校学生課教務係へご相談ください。また、成績一覧表番号は必ず記入してください。
入学確約書	推薦入学者選抜を受験する志願者は、入学確約書（単願用）を提出してください。
推薦書	本校所定の用紙を用い、在籍中学校等の校長が作成・厳封してください。
受験票返送用封筒	本校所定の受験票返送用封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、374円分の切手をはり付けてください。整理番号欄は、記入しないでください。
あて名票	志願者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。整理番号欄は、記入しないでください。
国籍及び在留資格を確認できるもの	外国籍の者は、市区町村長の発行する「住民票の写し」を提出してください。
成績一覧表 ※6	在籍中学校等の校長は、第3学年の成績一覧表を1部作成し、提出してください。なお、成績一覧表の様式は、群馬県教育委員会又は埼玉県教育委員会の定める様式と同一のものとします。その他の地域の場合は本校学生課教務係へご相談ください。複数の志願者がいる場合においては、学校として1部提出してください。

※1 出願区分の選択

推薦入学者選抜の出願区分は「1 推薦」です。なお、推薦入学者選抜に不合格となった者は、一般入学者選抜の単願での志願者となります。また、帰国子女特別選抜への出願を併せて希望する者は12ページを参照してください。

※2 受験地の選択

推薦入学者選抜の受験地は本校となります。推薦入学者選抜の志願者は推薦入学者選抜に不合格となったときは、一般入学者選抜の志願者となります。一般入学者選抜の受験地については、9ページ「一般入学者選抜における最寄り地等受験制度について」を参照し、必ずいずれかの会場を選択してください。また、帰国子女特別選抜への出願を併せて希望する者は12ページを参照してください。

※3 検定料の支払手続（銀行から振り込む場合）

本校所定の「振込通知書」、「振込金領収証書」及び「振込依頼書」に、出願者氏名・住所等を記入の上、最寄りの銀行窓口で振り込んでください。なお、現金自動預払機（ATM）による振込はできません。

振込期間は、推薦入学者選抜については、令和3年12月1日（水）から令和4年1月7日（金）までとします。銀行窓口の営業時間には注意してください。

※4 検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- (1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- (2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」（次ページ参照）を受け取り、記入していただく必要があります。

(3) 振込後は「振込依頼書（お客様控え（複写））」（下記参照）を受領してください。

ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

振込依頼書（お客様控え（複写））（サンプル）

※ 5 次の場合は、納付された検定料の返還を請求することができます。

- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・検定料を重複で納付した場合

上記の場合は、群馬工業高等専門学校 学生課教務係（TEL：027-254-9060）までご連絡ください。

※ 6 令和4年度推薦入学者選抜出願に係る成績一覧表の提出期限について

成績一覧表は、他の出願書類とともに願書受付期間内に提出いただきますが（入学者募集要項3ページ）、やむを得ない理由により願書受付期間内に成績一覧表を提出できない場合は、下記(1)～(2)の要領により、願書受付期間後の提出を受け付けます。（この取扱いは成績一覧表に限ります。他の出願書類については願書受付期間内の提出が必要ですので、御留意ください。）。

- (1) 成績一覧表の提出が遅れる旨を、他の出願書類の提出に先立って、令和4年1月6日（木）までに、必ず学生課教務係へ御連絡ください。
- (2) 成績一覧表を、令和4年1月14日（金）まで（必着）に、学生課教務係へ提出してください。

3 出願方法

郵送又は持参で受け付けます。

＜郵送の場合＞

志願者は、3ページ記載の出願書類を作成し、在籍中学校等を経由して、本校所定の出願用封筒により、簡易書留速達郵便で下記宛てに送付してください。中学校等において、複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに本校所定の出願用封筒に入れ、それらを一括して在籍中学校等の封筒を用いて「入学願書在中（○名）」と朱書し、簡易書留速達郵便で願書受付期間内に送付（令和4年1月7日（金）必着）してください。

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地
群馬工業高等専門学校 学生課教務係

＜持参の場合＞

志願者は、3ページ記載の出願書類を作成し、在籍中学校等の担当教職員がそれらを取りまとめ、本校所定の出願用封筒により、群馬工業高等専門学校学生課教務係へ提出してください。中学校等において、複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに本校所定の出願用封筒に入れて提出してください。

受付期間：令和4年1月5日（水）から1月7日（金）まで

受付時間：10時から15時まで（12時～13時は除く）（時間厳守）

受付場所：1月5日（水）……群馬工業高等専門学校 第一体育館

1月6日（木）、7日（金）……学生課教務係（管理棟1階）

4 志望学科の選定

志望学科については、機械工学科、電子・メディア工学科、電子情報工学科、物質工学科及び環境都市工学科の5学科から選定してください。

推薦入学者選抜は、第1志望のみで行いますが、推薦入学者選抜に不合格となったときは、一般入学者選抜の志願者となりますので、推薦入学者選抜の志願者も第2志望、第3志望の学科がある場合は、入学願書の所定欄に記入してください。第1志望だけしか記入がない場合は、第1志望のみとして取り扱います。また、第2志望までしか記入がない場合は、第2志望までを考慮した選抜方法になります。出願後に志望学科の変更はできません。

5 選抜の方法

中学校等の校長から提出された推薦書、調査書及び面接の結果を総合して判定します。

6 面接の日時及び検査場

期　　日	集　合　時　間	検　査　場
令和4年1月20日(木) (予備日：1月21日(金))	後日、受験票送付時に通知します。	群馬工業高等専門学校

※天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

面接当日の注意事項

- (1) 受験票、黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム及び鉛筆削りを持参してください。
- (2) 検査場の入口で、受験票を提示し、係員の指示に従って検査室に入室してください。上履きを持参する必要はありません。

7 選抜結果の通知等

選抜結果は、令和4年1月25日(火)、在籍中学校等の校長宛てに郵送にて通知します(各中学校等への到着は1月26日(水)以降となります)。

推薦入学者選抜に不合格となった者は、一般入学者選抜の単願(出願時に帰国子女特別選抜を希望した場合は帰国子女特別選抜)での志願者となります。この場合は出願書類の再提出及び検定料の再納入の必要はありません。

8 合格者の発表

合格者の受験番号を、令和4年2月16日(水)10時に本校内(16ページ校内配置図参照)に掲示します。

また、掲示後、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。合格者又は代理の方は、次のいずれかの日時及び場所において受験票を提示し、合格通知書及び入学手続に関する書類を受領してください。

書類交付 日時及び場所	令和4年2月16日(水)10時から15時まで 本校学生ホール
	令和4年2月17日(木)10時から15時まで 本校学生課
	令和4年2月18日(金)10時から15時まで 本校学生課

9 入学手続

令和4年3月9日(水)に入学手続を行ってください。詳細は、入学手続に関する書類をご確認ください。

10 身体に障害のある入学志願者との事前相談・検査当日に配慮を希望する場合の事前相談について

身体に障害があって、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、1月7日（金）までに本校学生課教務係へご相談ください。

また、検査当日に事情により配慮（薬の持ち込みや、やむを得ない事情による別室受験など）が必要な受験生についても、1月7日（金）までに本校学生課教務係へご相談ください。

11 検定料免除の臨時措置について

本校に入学を志願する者で、令和3年度にその主たる家計支持者が災害救助法の適用があった地域に居住していて被災した場合には、検定料を免除することができます。該当する志願者は、出願に先立ち、できるだけ早い時期に本校学生課教務係へお申し出ください。

12 追試験（推薦）の実施について

追試験（推薦）の対象者

(1) 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、1月20日（木）又は1月21日（金）の面接を受験できない者。

※ (1) に示す1月20日（木）又は1月21日（金）の面接を受験できない事由を認める期間については、施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

(2) その他、受験者自身の責めに帰すことができない理由で、1月20日（木）又は1月21日（金）の面接試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、校長がその申請を認めた者。

追試験（推薦）受験申請の手続

追試験（推薦）の受験を希望する者は、面接当日午前9時までにその旨を本校に申し出たうえで、指定された期日までに中学校等の長又は医療機関による証明等の提出が必要となります。追試験（推薦）に関する手続等の詳細については、追試験（推薦）を受験する生徒及びその生徒の所属する中学校へ連絡します。

追試験（推薦）の日時及び検査場

面接期日	集合時間	検査場
令和4年2月4日（金）	後日通知します。	群馬工業高等専門学校

※天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

追試験（推薦）結果の通知等

追試験（推薦）の選抜結果は、令和4年2月8日（火）、在籍中学校等の校長宛てに郵送にて通知します（各中学校等への到着は令和4年2月9日（水）以降となります）。

追試験（推薦）に不合格となった者は、一般入学者選抜の単願での志願者となりますが、この場合は出願書類の再提出及び検定料の再納入の必要はありません。

合格者の発表、及び入学手続等については、推薦入学者選抜について 8、9（5ページ）に記載のとおりとなります。

一般入学者選抜について

1 願書受付期間

令和4年1月25日（火）から1月26日（水）まで（1月26日（水）必着）

2 出願書類

提出書類等	摘要
入学願書・写真票・受験票 ※1※2	本校所定の用紙を用い、必要事項を記入してください。なお、入学願書及び写真票の所定の欄に写真をはり付けてください。
検定料 ※3※4※5	検定料16,500円を※3及び※4に従って銀行又は郵便局（ゆうちょ銀行）より振込を行った後、銀行収納印の押された「振込通知書（提出用）」又は「振込依頼書（お客様控え（複写））」（ゆうちょ銀行）を「振込通知書」提出票にはり付けてください。
調査書	本校所定の用紙又は群馬県教育委員会の定める様式を用い、在籍（出身）中学校等の校長が作成・厳封してください。埼玉県内の中学校等に在籍している（又は中学校等を卒業した）方は、埼玉県教育委員会の定める様式でもよいものとします。その他の地域の場合は本校学生課教務係へご相談ください。また、成績一覧表番号は必ず記入してください。
入学確約書	単願の受験者は、入学確約書（単願用）を提出してください
受験票返送用封筒	本校所定の受験票返送用封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、374円分の切手をはり付けてください。整理番号欄は、記入しないでください。
あて名票	志願者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。整理番号欄は、記入しないでください。
国籍及び在留資格を確認できるもの	外国籍の者は、市区町村長の発行する「住民票の写し」を提出してください。
成績一覧表	在籍中学校等の校長は、第3学年の成績一覧表を1部作成し、提出してください。なお、成績一覧表の様式は、群馬県教育委員会又は埼玉県教育委員会の定める様式と同一のものとします。その他の地域の場合は本校学生課教務係へご相談ください。複数の志願者がいる場合においては、学校として1部提出してください。ただし、推薦入学者選抜において、すでに成績一覧表を提出している場合は、再度の提出は不要です。また、既卒者についても不要です。

※1 出願区分の選択

2 一般（単願）：出願時に入学確約書（単願用）を提出する

3 一般（併願）：出願時には入学確約書（併願用）を提出せず、入学手続の時に提出するのいずれかを選択してください。単願の受験者から募集人員程度までの合格者を選抜します。本校を第一志望とする志願者は、必ず単願を選択してください。単願の場合、入学辞退のできない他校の受験はできません。併願の受験者からも若干名の合格者を選抜します。

※2 受験地の選択

一般入学者選抜の受験地については、9ページ「一般入学者選抜における最寄り地等受験制度について」を参照し、必ずいずれかの会場を選択してください。

※3 検定料の支払手続（銀行から振り込む場合）

本校所定の「振込通知書」、「振込金領収証書」及び「振込依頼書」に、出願者氏名・住所等を記入の上、最寄りの銀行窓口で振り込んでください。なお、現金自動預払機（ATM）による振込はできません。振込期間は、一般入学者選抜については、令和4年1月17日（月）から1月26日（水）までとします。銀行窓口の営業時間には注意してください。

※4 検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

(1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。

(2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用す

ることはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」（下記参照）を受け取り、記入していただく必要があります。

- (3) 振込後は「振込依頼書（お客様控え（複写））」（以下参照）を受領してください。

ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

振込依頼書(お客様控え(複写)) (サンプル)

※5 次の場合は、納付された検定料の返還を請求することができます。

- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・検定料を重複して納付した場合

上記の場合は、群馬工業高等専門学校 学生課教務係（TEL：027-254-9060）までご連絡ください。

3 出願方法

郵送又は持参で受け付けます。

＜郵送の場合＞

志願者は、7ページ記載の出願書類を作成し、在籍中学校等を経由して、本校所定の出願用封筒により、簡易書留速達郵便で下記宛てに送付してください。中学校等において、複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに本校所定の出願用封筒に入れ、それらを一括して在籍中学校等の封筒を用いて「入学願書在中（○名）」と朱書し、簡易書留速達郵便で願書受付期間内に送付（1月26日（水）必着）してください。

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地
群馬工業高等専門学校 学生課教務係

＜持参の場合＞

志願者は、7ページ記載の出願書類を作成し、在籍中学校等の担当教職員がそれらを取りまとめ、本校所定の出願用封筒により、群馬工業高等専門学校学生課教務係へ提出してください。中学校等において、複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに本校所定の出願用封筒に入れて提出してください。

受付期間：令和4年1月25日（火）から1月26日（水）まで

受付時間：10時から15時まで（12時～13時は除く）（時間厳守）

受付場所：1月25日（火）……群馬工業高等専門学校 第一体育館

1月26日（水）……学生課教務係（管理棟1階）

4 志望学科の選定

志望学科については、機械工学科、電子メディア工学科、電子情報工学科、物質工学科及び環境都市工学科の5学科から選定してください。

一般入学者選抜では、選抜の結果によっては、第2志望又は第3志望の学科に合格することがあります。

すので、第1志望から第3志望を入学願書の所定欄に記入してください。第1志望だけしか記入がない場合は、第1志望のみとして取り扱います。また、第2志望までしか記入がない場合は、第2志望までを考慮した選抜方法になります。出願後に志望学科の変更はできません。

5 選抜の方法

学力検査及び中学校等の校長から提出された調査書の結果を総合して判定し、単願の受験者から募集人員程度までの合格者を選抜します。併願の受験者からも若干名の合格者を選抜します。なお、学力検査は、全教科マークシート方式によります。

学力検査の配点は、次のとおりです。

科目	国語	社会	数学	理科	英語	合計
配点	100点	100点	100点×1.5	100点×1.5	100点×1.3	630点満点

6 学力検査（一般入学者選抜）の日時及び検査場

期日	教科名	時間	検査場
令和4年2月13日(日)	受付開始	8:30	1 本校検査場 群馬工業高等専門学校
	集合	9:00	2 熊谷検査場 熊谷市立市民ホール
	理科	9:30～10:20	3 最寄り地等 下記参照
	英語	10:50～11:40	
	数学	12:10～13:00	
	国語	13:50～14:40	
	社会	15:10～16:00	

※天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

学力検査当日の注意事項

- (1) 受験票、黒鉛筆（HB）、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム（カバーを外したもの）、鉛筆削りを持参してください。
※シャープペンシルはメモ書きや計算に使用し、解答用紙にマークする際は、黒鉛筆（HB）を使用してください。なお、鉛筆削りについては、検査時間外のみ使用可能とします。
- (2) 学力検査の公正さを損なうおそれのある文字等が印刷されているものを、検査時間中に使用したり身に着けたりすることはできません（ハンカチ・膝掛を含む）。
- (3) 検査場の入口で、受験票を提示し、係員の指示に従って9時までに検査室に入室してください。上履きを持参する必要はありません。
- (4) 昼食を持参してください。

7 一般入学者選抜における最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、一般入学者選抜において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。受験生は本校が設置する会場以外に、機構ホームページの『最寄り地等受験制度 会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する受験生は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします（次ページに記載している本校の「主たる受験地」は、事前相談は不要です）。

【事前相談問い合わせ先】

窓口：群馬高等専門学校学生課教務係

電話：027-254-9060

相談期間：令和3年11月1日（月）～12月6日（月）

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先（機構ホームページ）

：<https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/index.html>
本校の「主たる受験地」：本校検査場(群馬工業高等専門学校)、熊谷検査場



※希望する会場の受入可否については、12月15日（水）まで
にお知らせいたします。
※「推薦入学者選抜」、「帰国子女特別選抜」は、本制度の対象外です。
※事前相談期間締切後については、原則受け付けません。

(機構ホームページ)

8 合格者の発表

合格者の受験番号を、令和4年2月16日（水）10時に本校内（16ページ校内配置図参照）に掲示します。

また、掲示後、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。合格者又は代理の方は、次のいずれかの日時及び場所において受験票を提示し、合格通知書及び入学手続に関する書類を受領してください。

書類交付 日時及び場所	令和4年2月16日（水）10時から15時まで 本校学生ホール
	令和4年2月17日（木）10時から15時まで 本校学生課
	令和4年2月18日（金）10時から15時まで 本校学生課

9 入学手続

令和4年3月9日（水）に入学手続を行ってください。手続をしない場合は入学を認めません。併願での合格者は、入学手続の時に「入学確約書（併願用）」を必ず提出してください。入学手続の詳細は、入学手続に関する書類をご確認ください。

10 追加合格

募集人員に欠員が生じた場合は、追加合格を行うことがあります。

11 身体に障害のある入学志願者との事前相談・検査当日に配慮を希望する場合の事前相談について

身体に障害があって、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立って、1月17日（月）までに本校学生課教務係へご相談ください。

また、検査当日に事情により配慮（薬の持ち込みや、やむを得ない事情による別室受験など）が必要な受験生についても、1月17日（月）までに本校学生課教務係へご相談ください。

12 検定料免除の臨時措置について

本校に入学を志願する者で、令和3年度にその主たる家計支持者が災害救助法の適用があった地域に居住していて被災した場合には、検定料を免除することができます。該当する志願者は、出願に先立ち、できるだけ早い時期に本校学生課教務係へお申し出ください。

13 追試験（一般）の実施について

追試験（一般）の対象者

- (1) 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、2月13日（日）の学力検査を受験できない者。
※ (1) に示す2月13日（日）の学力検査を受験できない事由を認める期間については、施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。
- (2) その他、受験者自身の責めに帰すことができない理由で、2月13日（日）の学力検査を受験できず、追試験の受験を申請した者で、校長がその申請を認めた者。

追試験（一般）受験申請の手続

追試験（一般）の受験を希望する者は、2月13日（日）当日午前9時までにその旨を本校に申し出たうえで、指定された期日までに中学校等の長又は医療機関による証明等の提出が必要となります。追試験（一般）に関する手続等の詳細については、追試験（一般）を受験する生徒及びその生徒の所属する中学校へ連絡します。

追試験（一般）の日時及び検査場

期日	教科名	時間	検査場
令和4年2月27日（日）	受付開始	8：30	1 本校検査場 群馬工業高等専門学校
	集合	9：00	
	理科	9：30～10：20	
	英語	10：50～11：40	
	数学	12：10～13：00	
	国語	13：50～14：40	
	社会	15：10～16：00	

※天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

合格者の発表

合格者の受験番号を、令和4年3月2日（水）10時に本校内（16ページ校内配置図参照）に掲示します。

また、掲示後、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。合格者又は代理の方は、令和4年3月3日（木）までに本校学生課において受験票を提示し、合格通知書及び入学手続に関する書類を受領してください。

帰国子女特別選抜について

1 願書受付期間

令和4年1月25日（火）から1月26日（水）まで（1月26日（水）必着）

帰国子女特別選抜の志願者は、出願資格等を確認しますので、必ず令和3年11月26日（金）までに本校学生課教務係へ連絡してください。事前連絡のない出願はできません。

2 出願書類

提出書類等	摘要
入学願書・写真票・受験票 ※1※2	本校所定の用紙を用い、必要事項を記入してください。なお、入学願書及び写真票の所定の欄に写真をはり付けてください。
検定料 ※3※4※5	検定料16,500円を※3及び※4に従って銀行又は郵便局（ゆうちょ銀行）より振込を行った後、銀行収納印の押された「振込通知書（提出用）」又は「振込依頼書（お客様控え（複写））」（ゆうちょ銀行）を「振込通知書」提出票にはり付けてください。
調査書	本校所定の用紙又は群馬県教育委員会の定める様式を用い、在籍（出身）中学校等の校長が作成・厳封してください。埼玉県内の中学校等に在籍している（又は中学校等を卒業した）方は、埼玉県教育委員会の定める様式でもよいものとします。その他の地域の場合は本校学生課教務係へご相談ください。また、成績一覧表番号は必ず記入してください。
入学確約書	帰国子女特別選抜を受験する志願者は、入学確約書（単願用）を提出してください。
受験票返送用封筒	本校所定の受験票返送用封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、374円分の切手をはり付けてください。整理番号欄は、記入しないでください。
あて名票	志願者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。整理番号欄は、記入しないでください。
国籍及び在留資格を確認できるもの	外国籍の者は、市区町村長の発行する「住民票の写し」を提出してください。
成績一覧表	在籍中学校等の校長は、第3学年の成績一覧表を1部作成し、提出してください。なお、成績一覧表の様式は、群馬県教育委員会又は埼玉県教育委員会の定める様式と同一のものとします。その他の地域の場合は本校学生課教務係へご相談ください。複数の志願者がいる場合においては、学校として1部提出してください。ただし、推薦入学者選抜において、すでに成績一覧表を提出している場合は、再度の提出は不要です。また、既卒者についても不要です。

※1 出願区分の選択

帰国子女特別選抜の出願区分は「4 帰国子女」となります。帰国子女特別選抜は単願であり、出願時に入学確約書を提出いただくため、入学辞退のできない他校の受験はできません。

なお、推薦入学者選抜にも出願する場合は、「1 推薦」を併せて選択してください。

※2 受験地の選択

帰国子女特別選抜の受験地は本校となります。

※3 検定料の支払手続（銀行から振り込む場合）

本校所定の「振込通知書」、「振込金領収証書」及び「振込依頼書」に、出願者氏名・住所等を記入の上、最寄りの銀行窓口で振り込んでください。なお、現金自動預払機（ATM）による振込はできません。

振込期間は、帰国子女特別選抜については、令和4年1月17日（月）から1月26日（水）までとします。銀行窓口の営業時間には注意してください。

※4 検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

(1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。

(2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は募集要項に添付されている振込依頼書を使用する

ことはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」（下記参照）を受け取り、記入していただく必要があります。

- (3) 振込後は「振込依頼書（お客様控え（複写））」（以下参照）を受領してください。

ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

振込依頼書（お客様控え（複写））（サンプル）

※5 次の場合は、納付された検定料の返還を請求することができます。

- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・検定料を重複で納付した場合

上記の場合は、群馬工業高等専門学校 学生課教務係 (TEL: 027-254-9060) までご連絡ください。

3 出願方法

郵送又は持参で受け付けます。

＜郵送の場合＞

志願者は、12ページ記載の出願書類を作成し、在籍中学校等を経由して、本校所定の出願用封筒により、簡易書留速達郵便で下記宛てに送付してください。中学校等において、複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに本校所定の出願用封筒に入れ、それらを一括して在籍中学校等の封筒を用いて「入学願書在中（○名）」と朱書し、簡易書留速達郵便で願書受付期間内に送付（1月26日（水）必着）してください。

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地
群馬工業高等専門学校 学生課教務係

＜持参の場合＞

志願者は、12ページ記載の出願書類を作成し、在籍中学校等の担当教職員がそれらを取りまとめ、本校所定の出願用封筒により、群馬工業高等専門学校学生課教務係へ提出してください。中学校等において、複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに本校所定の出願用封筒に入れて提出してください。

受付期間：令和4年1月25日（火）から1月26日（水）まで

受付時間：10時から15時まで（12時～13時は除く）（時間厳守）

受付場所：1月25日（火）……群馬工業高等専門学校 第一体育館

1月26日（水）……学生課教務係（管理棟1階）

4 志望学科の選定

志望学科については、機械工学科、電子メディア工学科、電子情報工学科、物質工学科及び環境都市工学科の5学科から選定してください。帰国子女特別選抜では、第1志望のみを入学願書の所定欄に記入し

てください。出願後に志望学科の変更はできません。

5 選抜の方法

学力検査、面接、及び中学校等の校長から提出された調査書の結果を総合して判定します。なお、学力検査は、全教科マークシート方式によります。

学力検査の配点は、次のとおりです。

科目	国語	数学	理科	英語	合計
配点	100点	100点×1.5	100点×1.5	100点×1.3	530点満点

6 学力検査（帰国子女特別選抜）の日時及び検査場

期日	教科名	時間	検査場
令和4年2月13日（日）	受付開始	8：30	1 本校検査場 群馬工業高等専門学校
	集合	9：00	
	理科	9：30～10：20	
	英語	10：50～11：40	
	数学	12：10～13：00	
	国語	13：50～14：40	
	面接	15：10～16：00	

※天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

学力検査当日の注意事項

- (1) 受験票、黒鉛筆（HB）、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム（カバーを外したもの）、鉛筆削りを持参してください。
※シャープペンシルはメモ書きや計算に使用し、解答用紙にマークする際は、黒鉛筆（HB）を使用してください。なお、鉛筆削りについては、検査時間外のみ使用可能とします。
- (2) 学力検査の公正さを損なうおそれのある文字等が印刷されているものを、検査時間中に使用したり身に着けたりすることはできません（ハンカチ・膝掛を含む）。
- (3) 検査場の入口で、受験票を提示し、係員の指示に従って9時までに検査室に入室してください。上履きを持参する必要はありません。
- (4) 昼食を持参してください。
- (5) 面接については、後日受験票と共に通知しますので、その指示に従ってください。

7 合格者の発表

合格者の受験番号を、令和4年2月16日（水）10時に本校内（16ページ校内配置図参照）に掲示します。

また、掲示後、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。合格者又は代理の方は、次のいずれかの日時及び場所において受験票を提示し、合格通知書及び入学手続に関する書類を受領してください。

書類交付 日時及び場所	令和4年2月16日（水）10時から15時まで 令和4年2月17日（木）10時から15時まで 令和4年2月18日（金）10時から15時まで	本校学生ホール 本校学生課 本校学生課
----------------	--	---------------------------

8 入学手続

令和4年3月9日（水）に入学手続を行ってください。詳細は、入学手続に関する書類をご確認ください。

9 身体に障害のある入学志願者との事前相談・検査当日に配慮を希望する場合の事前相談について

身体に障害があって、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、1月17日（月）までに本校学生課教務係へご相談ください。

また、検査当日に事情により配慮（薬の持ち込みや、やむを得ない事情による別室受験など）が必要な受験生についても、1月17日（月）までに本校学生課教務係へご相談ください。

10 検定料免除の臨時措置について

本校に入学を志願する者で、令和3年度にその主たる家計支持者が災害救助法の適用があった地域に居住していて被災した場合には、検定料を免除することができます。該当する志願者は、出願に先立ち、できるだけ早い時期に本校学生課教務係へお申し出ください。

11 追試験（帰国子女特別）の実施について

追試験（帰国子女特別）の対象者

（1）学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、2月13日（日）の学力検査及び面接を受験できない者。

※（1）に示す2月13日（日）の学力検査及び面接を受験できない事由を認める期間については、施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

（2）その他、受験者自身の責めに帰すことができない理由で、2月13日（日）の学力検査及び面接を受験できず、追試験の受験を申請した者で、校長がその申請を認めた者。

追試験（帰国子女特別）受験申請の手続

追試験（帰国子女特別）の受験を希望する者は、2月13日（日）当日午前9時までにその旨を本校に申し出たうえで、指定された期日までに中学校等の長又は医療機関による証明等の提出が必要となります。追試験（帰国子女特別）に関する手続等の詳細については、追試験（帰国子女特別）を受験する生徒及びその生徒の所属する中学校へ連絡します。

追試験（帰国子女特別）の日時及び検査場

期日	教科名	時間	検査場
令和4年2月27日（日）	受付開始	8:30	1 本校検査場 群馬工業高等専門学校
	集合	9:00	
	理科	9:30～10:20	
	英語	10:50～11:40	
	数学	12:10～13:00	
	国語	13:50～14:40	
	面接	15:10～16:00	

※天候不良等による変更などがある場合は、本校ホームページに情報を掲載します。

合格者の発表

合格者の受験番号を、令和4年3月2日（水）10時に本校内（16ページ校内配置図参照）に掲示します。

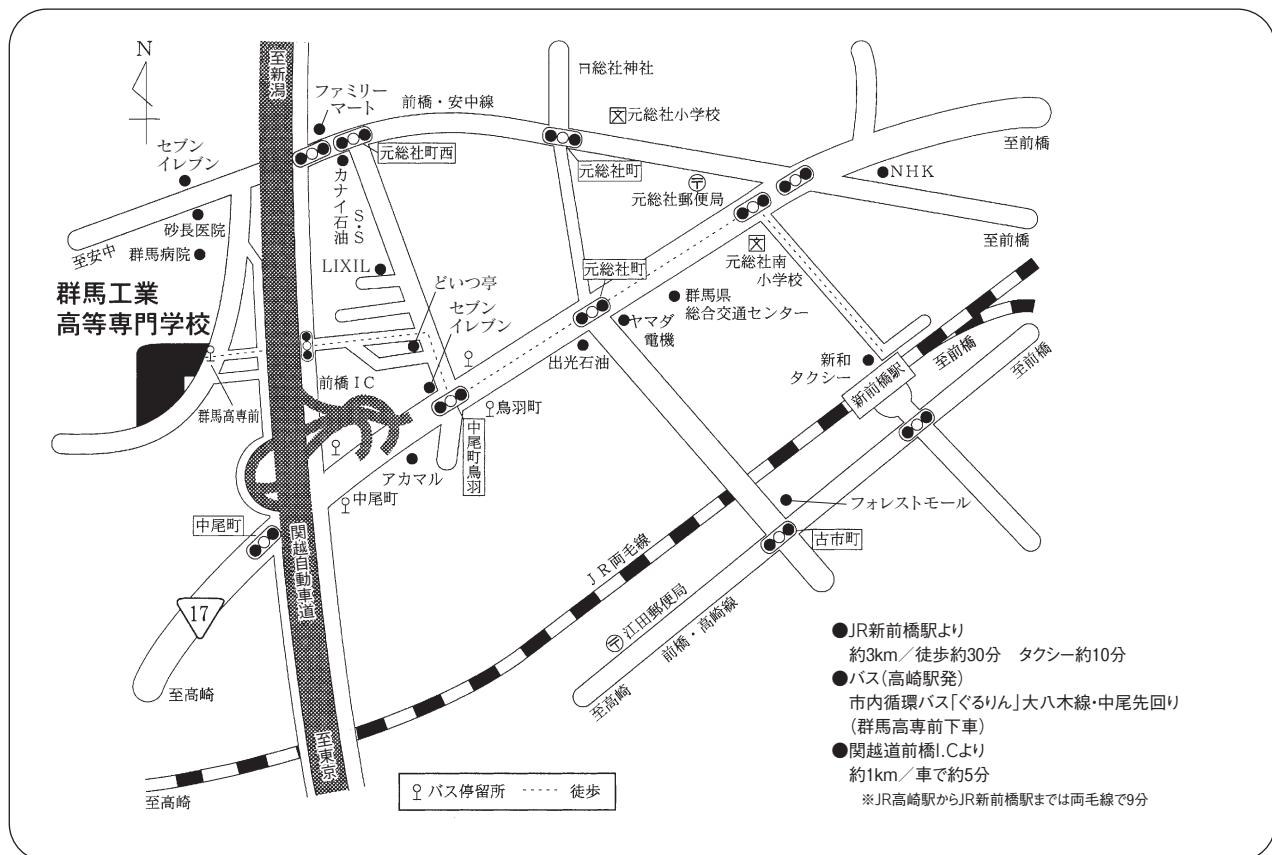
また、掲示後、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。合格者又は代理の方は、令和4年3月3日（木）までに本校学生課において受験票を提示し、合格通知書及び入学手続に関する書類を受領してください。

◎ 検査場案内図

【本校検査場（群馬工業高等専門学校）】

〒371-8530

群馬県前橋市鳥羽町580番地



校内配置図

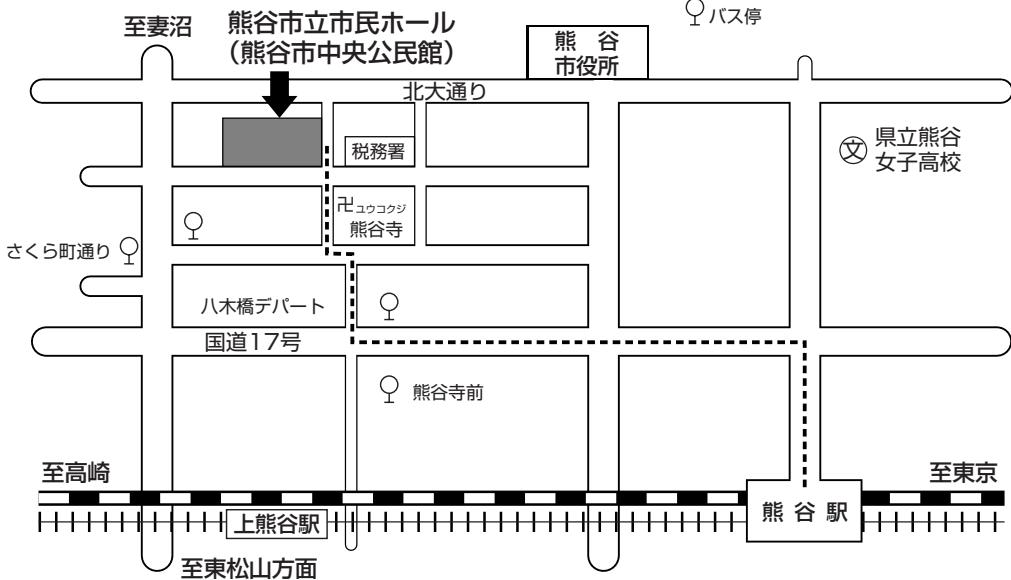
- 1 管理棟
- 2 第1・第2講義棟
- 3 環境都市工学科棟
- 10 群嶺会館(学生食堂)
- 11 専攻科S-103教室
- 14 第2体育館
- 15 第1体育館
- 18 図書館
- 21 学寮
- 24 駐輪場
- 25 電子情報工学科棟
- 26 学生課





【交通案内】

- JR熊谷駅より 徒歩約18分（約1.5km）
- 秩父鉄道上熊谷駅より 徒歩約8分（約600m）
- バス 熊谷寺前下車 徒歩約4分



※駐車場が狭いため、公共交通機関をご利用ください。

入　学　案　内

1 本校の教育理念

本校では、「科学技術を通し、地球と人の調和をはかり、人類の繁栄に貢献できる人材を育成する」ことを教育理念としています。

2 教育目標

最も得意とする工学の知識と異なる分野の工学の知識を融合することにより、専門分野を広い視野で捉えることができ、将来、より高度な技術的課題に取り組むことができる基礎能力を有する技術者を養成する。

3 アドミッション・ポリシー

3-1 求める学生像

本校では、本校の教育理念及び学習・教育目標、さらには、学科の教育目的を踏まえ、総合的な基礎学力を十分に有する、次のような人の入学を求めている。

- (1) 科学技術者になりたいという志をもっている人
- (2) 人類の繁栄と地球環境を守るために科学技術に関心のある人
- (3) 国際的な場で活躍したいという希望をもっている人
- (4) 工業技術に興味があり、自ら進んで学習する意欲のある人
- (5) 数学や理科などの自然科学系科目が得意で興味のある人

3-2 入学者選抜の基本方針

(1) 推薦入学者選抜

出身中学校等から推薦された志願者のうち、入学の意志が強固で、学修に必要な基礎学力を有し、適性及び関心をもつ者を調査書及び面接により選抜する。

(2) 一般入学者選抜

入学を志望し、学修に必要な基礎学力を十分に有する者を調査書及び学力検査により選抜する。

(3) 編入学者選抜

入学を志望し、編入学後の学修に必要な基礎学力を有し、適性をもつ者を調査書、学力検査及び面接により選抜する。

4 「生産システム環境工学プログラム」について

本校では、世界に通用する技術者を養成するため、本科5学科及び専攻科2専攻が一体となった一つの教育プログラム「生産システム環境工学プログラム」を設けています。この教育プログラムは「最も得意とする工学の知識」と「異なる分野の工学基礎の知識」を融合することにより、専門分野を広い視野でとらえることができ、将来、より高度な技術的課題に取り組むことのできる基礎能力を有する技術者の養成を目指しています。

5 本校の特色

本校は、国立高等専門学校の第1期校として昭和37年4月に開校し、5年間の一貫教育により、これまでに約8,700名の卒業生を社会に送り出してきました。平成3年7月には学校教育法が改正され、高等専門学校を卒業した者は「準学士」と称することができるようになりました。

教育カリキュラムは、一般科目と専門科目を系統的にバランスよく学ぶため、学年が上がるにつれて

専門科目の割合が増えていくように設計されています。技術者として社会で活躍するための基礎・教養となる一般科目にも力を入れ、専門科目においては、工学の理論とともに実験・実習などの実技科目を重視しています。1年次及び2年次は各学科の学生を均等に振り分けた学級（混合学級）を採用し、全学科共通の科目は混合学級で、専門科目は専門学科で授業を実施しています。また、人間形成という観点から、教員と学生の緊密な触れ合いを図り、学習面のみならず生活面にも行き届いた指導を行い、学生の教育に万全を期しています。さらに、正規の授業の他に課外活動を重視し、たくましい体力と強靭な精神力を育成することに力を入れています。

また、全ての学科で情報処理が学べるカリキュラムとなっています。近年の情報通信技術（ICT）の発展に伴い、従来から取り組んでいるプログラミング教育に加え、情報モラルやセキュリティ教育も取り入れており、豊かな情報リテラシーを有する人材の育成を行っています。さらに各学科の特色を活かした情報教育へと発展させることにより、それぞれの分野で必要とされる情報処理能力を修得することができます。校内には高速・大容量のネットワーク環境が整備されていることに加え、平成31年3月には演習室のPCを一斉更新し、ICT環境の充実が図られています。

さらに、国際交流の観点から、これまでに外国人留学生（定員外）124名を受け入れてきました。今後も毎年数名の留学生を受け入れる予定です。

本校卒業後更に勉学を希望する学生のために、平成7年度から2年制の専攻科を設置しました。専攻科では、主に高専卒業生を対象として、今日の先端科学技術産業が必要とする人材を育成することを目指しています。専攻科で所定の単位を修得すると、大学と同様に「学士」の学位が取得可能となります。なお、本校の専攻科には、機械工学、電子メディア工学及び電子情報工学を基礎とする生産システム工学専攻と、物質工学及び環境都市工学を基礎とする環境工学専攻の2専攻があります。専攻科卒業後には直接大学院へ進学することもできます。

この専攻科以外にも高専卒業生には、国公私立大学3年次への編入学の道が開けています。本校では、近年、大学3年次編入者や専攻科への進学者が多い状況が続いています。

6 本校の学生定員

(1) 学科

学科	学級数	入学定員	修業年限	総定員
機械工学科	1	40名	5年	200名
電子メディア工学科	1	40名	5年	200名
電子情報工学科	1	40名	5年	200名
物質工学科	1	40名	5年	200名
環境都市工学科	1	40名	5年	200名
計	5	200名		1,000名

(2) 専攻科

専攻	学級数	入学定員	修業年限	総定員
生産システム工学専攻	1	12名	2年	24名
環境工学専攻	1	8名	2年	16名
計	2	20名		40名

7 教育課程

授業科目の詳細は一覧表（20ページ参照）のとおりです。低学年では一般科目が多く、高学年に進むにつれて専門科目が増えていきます。5年次には卒業研究が課せられています。なお、次表（20ページ参照）はあくまで参考であり、授業科目の改定が行われる場合もあります。

表 1 授業科目

太字：1～3年生の受講科目
細字：4・5年生の受講科目

※材料化学コースのみ選択可能
※※生物工学コースのみ選択可能

8 学習目標

本校の目指す技術者像を達成するための学習目標は次のとおりです。

A. 地球的規模での人、社会、環境について倫理・教養の基本を身に付ける。

1. 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。
2. 工学や技術の潜在的危険性を理解する。

B. 技術的問題解決のための幅広い工学の基本的知識を身に付ける。

1. 工学の基礎となる自然科学の科目を理解する。
2. 基礎工学科目の学習を通して、工学の基本を身に付ける。
3. コンピュータリテラシーの基礎を学習し、それを簡単な工学的問題に応用できる。

C. 技術的問題解決のための専門分野の基本的知識を身に付ける。

各学科における専門科目を学習することにより、技術的課題を理解し対応できる。

D. 技術的課題を分析し、解決するためのシステムをデザインする基礎能力を身に付ける。

1. 自然科学、基礎工学、専門工学の知識を用いて、現実の技術的課題を理解し、それを解決するための工夫ができる。
2. 技術的問題解決のために必要な情報を収集し、解析するための基本となる情報処理技術及び工学的ツールを活用できる。
3. 実験・実習科目の修得を通じて、自主的、継続的に学習できる能力を身に付ける。
4. 設定された目標に対し、互いに連携を図りながら目標達成に向けた行動ができる。

E. コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を身に付ける。

1. 自己の考えを論理的、客観的に口頭及び文章で表現できる。
2. 異なった歴史や文化を持った人々の考えを理解できる。
3. 英語の基礎的な文章を理解し、また英語で簡単な内容を伝えることができる。

9 学科紹介

〔機械工学科〕

機械工学は、自動車、重工、ロボットなどをはじめ様々な産業分野の基礎学問をなし、近年では、環境・化学・情報・電子・医学など多くの分野と融合して著しく応用分野が拡大しています。機械工学の理論や考え方は、今日の社会問題とも言えるエネルギー供給やCO₂による地球温暖化問題など人類が抱える難題を解決するための基盤を形成していると言っても言い過ぎではないでしょう。

機械工学は、自動車や航空機などエネルギーを用いて我々の生活を便利にする機械装置を設計すること、また、それらの製品を作り出すため、ロボットなどの機械の設計、製造方法の研究、機械を構成する材料の開発など、エネルギーの利用に関するこを扱います。

本校の機械工学科では、工学のあらゆる分野で幅広く活躍できるように、力学などの基礎科目に重点をおき、さらに、コンピュータ教育も重視したカリキュラムを編成し、創造力が豊かで独創的発想ができるとともに、実践的な行動力のある技術者の養成を目指しています。

機械工学科の卒業生は、重工業、自動車工業、工作機械、精密機械、金属等のいわゆる機械系の会社に就職できることはもちろんですが、電気、化学、情報・土木等の会社からも、多くの求人があります。卒業生はこれらの会社において、研究、開発、設計、生産技術等の各分野で幅広く活躍しています。

〔電子メディア工学科〕

電子メディア工学科は、電気工学科に由来を持ち、現代社会に合うように教育内容を刷新した学科です。「メディア」という言葉には「媒介」、「媒体」等の意味があります。電子を媒介・媒体とした広い

科学分野に「エレクトロニクス」の理論や技術を駆使した工学が「電子メディア工学」です。この広い学問分野のうち、本学科では特に情報通信、エネルギー変換と、これらを支える電子材料の3分野を教育・研究の中心に据えています。入学した学生は、エレクトロニクスの基礎を体系化された形で理解し、卒業時には広く電子が関連する工学分野（特に上記3分野）について、更に深く学び研究・開発を行うことが可能な基礎能力を獲得できます。

現在世界は政治・経済だけでなく技術分野においても激動の時代を迎えています。この厳しい時代を卒業生たちが乗り切って行くため、本学科では「社会の変革をリードできる技術者を育てる」ことを目指しています。将来異分野にもチャレンジできる創造力を養うために、特に基礎学力に重点を置いた教育を推し進めています。このため低学年から数学・物理をはじめとした基礎学力の確実な修得を目指して重点的に演習の時間を設けており、また、専門科目についても適宜実験を行うことで、知識の確実な定着を図っています。

卒業生の進路は、おおよそ、8割が専攻科・大学編入学などの進学、2割が就職となっています。進学先は電気・電子・通信系にとどまらず、情報や数学、物理、化学、生物、経済等、非常に多彩な分野となっており、これも当学科の大きな特色の一つです。進学した学生の多くはさらに大学院へ進学し、さらに高度な研究を目指しています。一方求人企業の職種も電気・電子・通信・情報・医薬・食品・自動車・鉄道・航空等、これも極めて多岐にわたっています。

〔電子情報工学科〕

電子情報工学科は、「コンピュータと未来を拓く」をキャッチフレーズに、ハードウェア（半導体技術、電子工学、電気・電子回路、デジタル回路、情報通信など）とソフトウェア（プログラミング、アルゴリズム、オペレーティング・システムなど）の両方に精通し、「バランス感覚」を持ったエンジニアを養成することを目標にしていて、ものづくりの方法と関連分野を総合的に学ぶ学科です。この「バランス感覚」とは、ハードウェア・ソフトウェアの広い見地から、設定した問題を解決する方法を判断する感覚であり、一方の知識だけでは優れた手腕を發揮できるエンジニアにはなれません。

電子情報工学科の専門科目については、講義では理論・設計方針を中心に、実験・実習では学生自ら回路・プログラムを設計・実装し動作させるものを多く用意しています。自ら考え、手を動かすことで、問題解決能力・独自性・創造性を養うことを目的としています。

求人は、電子・通信・コンピュータ・情報処理などの製造・開発・サービス業をはじめ、近年急速に情報系エンジニアが必要とされている鉄道・電力等のインフラ関連、医療機器分野、食品・ケミカル関係まで幅広い業種があります。時代の第一線で活躍できる情報系エンジニア・研究者を養成し、社会に送り出すのが電子情報工学科です。

電子情報工学科の卒業生の多くが専攻科又は大学に編入学し（ほぼ毎年70%以上）、さらにその半数以上が大学院に進学しており、企業の第一線で活躍しています。

〔物質工学科〕

物質工学は、化学や生物学を基本に、物質の構造や性質の解明を行い、これを基礎として、今までの物質に新しい性能を付け加えたり、日常生活に役立つような新しい材料を創り出したりすることを目的とする学問分野です。また、太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用した発電・蓄電デバイスに関する材料開発も物質工学の最近の話題です。具体的には、繊維、プラスチック、医薬品、化粧品、食品、セメント、電子材料、ニューセラミックスなど、私たちの身の回りの多くの製品が物質工学の対象となります。また、近年の生物工学の発展に伴い、多くの有用な物質が生物の力を借りて生産されるようになりました。これらの製品を製造するための化学・生物プラントの設計や運転に関する基礎技術の開発も物質工学の大切な目的の一つです。そして、地球環境問題の解決、省資源・省エネルギー的工業技術の開発などを通して、私たちの生活を一層豊かにし大きく発展させることも重要な課題です。これらの課題に対応するため、物質工学科では4年生以上で材料化学コースと生物工学コースに分かれたカリキュラムを組んでいます。

現在、当学科卒業生の多く（8～9割）は進学の道を選び、化学や生物をさらに深く学ぶために本校の専攻科へ入学又は大学へ編入学しています。そして、進学した学生の半数以上はさらに大学院に進んでより高度な研究者を目指しています。一方、学科を卒業して社会に出る学生に対する求人も多くてきます。それらは上記のような化学・生物に関連した企業が中心ですが、最近では、企業の多角化に伴い、機械・電気・情報処理関係の企業においても化学・生物系の技術者を必要とするようになり、この方面からの求人も多くなりました。これらの企業では、開発・研究・製造・調査・企画などに携わることになります。すでに各職場の第一線で活躍している人が数多くいます。

当学科では、自然との調和を保ちつつ人類の幸せを考える技術者を世の中に送り出すことを目的に、様々な問題を長期的視点に立って多面的にとらえ、自分の力で考えて解決していくことができるような人材を育てています。

〔環境都市工学科〕

環境都市工学科は、公共性が高く生活に重要な役割をなす社会基盤の計画・設計・施工・管理に関する専門知識と社会基盤に関わる防災・環境・まちづくりに関連した専門知識を学ぶ学科です。

社会基盤とは、電力やガスというエネルギー施設、高速道路、新幹線やリニア新幹線などの交通施設、水資源の活用と防災を目的とするダムや堤防、港湾や空港、上下水道などのことです。社会基盤を建設するための測量、計画、調査、設計及び施工は、コンピュータによる設計・製図とネットワークの利用による情報化施工に代表されるように急速な進歩を遂げつつあり、社会では高度の建設技術者を必要としています。この要求に応えるため当学科では、基礎的学力と高い応用能力、さらに最新の技術を身に付けた技術者を社会に送り出せるように教育課程を組み立てています。

卒業生の就職は、国土交通省・県庁・市役所などの官公庁及び建設会社・コンサルタント（設計会社）、鉄道、諸工業（鉄鋼・金属等）、メンテナンス、環境、ソフトウェア関係などの民間企業であり、これらの職場において計画・設計・施工・管理などの業務に従事し活躍しています。

当学科の卒業生には、「測量士補」の資格が与えられます（試験免除）。また、在学中に大学卒業レベルの「技術士第一次試験（技術士補）」に合格する学生が多くいます。さらに、所定の実務経験をつむことで「土木施工管理技士」「技術士」などの資格も受験し取得できます。

なお、当学科では、建築学の専門的な事柄（特にデザイン）については教えていません。

10 学校行事

学校行事としては、球技大会・社会見学旅行等があります。また、芸術鑑賞会及び体育祭と工華祭（学園祭）が隔年で開催されます。

11 課外活動

本校の学生は、入学と同時に学生会の会員になり、各種の課外活動に参加しています。学生会には、次のクラブがあります。

文化系クラブの発表の場は、校内や校外での発表会の他、関東信越地区文化発表会等があります。体育系クラブの参加する競技会は、関東信越地区高専体育大会や全国高専体育大会などがあります。

その他、高専相互や県内高校との親善試合も数多く行っています。

〈文化系クラブ〉吹奏楽部・文芸部・写真部・美術部・理科部・茶道部・S F研究部・電算部・演劇部・将棋部・ロボット研究会・コンクリートカヌー愛好会・エコノパワー愛好会・構造デザイン研究会・3Dデザイン研究会・クイズ研究会・無線通信愛好会

〈体育系クラブ〉陸上競技部・硬式野球部・サッカー部・バレーボール部・バスケットボール部・ソフトテニス部・卓球部・柔道部・剣道部・テニス部・バドミントン部・水泳部・フットサル愛好会・自転車愛好会・ダンス愛好会

12 卒業後の進路

(1) 過去3年の大学等進学状況

・大学・専攻科進学状況：学科卒業生

大学等名	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
群馬高専専攻科	38	42	38
北見工業大学			1
北海道大学		1	
室蘭工業大学	5	3	
岩手大学			1
東北大学	3	3	4
茨城大学	3	1	2
筑波大学	5	1	7
宇都宮大学	1	2	1
群馬大学	9	8	9
埼玉大学	1		
千葉大学		1	1
東京大学	1	2	1
東京農工大学	2	1	1
東京工業大学	4	1	2
お茶の水女子大学	1		
電気通信大学			1
新潟大学	4	5	4
長岡技術科学大学	20	24	23
金沢大学	2	3	3
山梨大学	9	4	5
信州大学	7	2	2
岐阜大学	1	1	5
豊橋技術科学大学	4	5	5
京都大学		1	
岡山大学		1	1
広島大学			1
九州大学			2
その他の大学等	10	8	5
計	130	120	125

・大学院進学状況：専攻科修了生

大学院名	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
東北大学大学院	4	3	2
筑波大学大学院	2		4
群馬大学大学院		1	
東京大学大学院	4	1	2
東京工業大学大学院	11	7	8
電気通信大学大学院		1	
横浜国立大学大学院	1	1	
京都大学大学院	1		1
大阪大学大学院	2		
九州大学大学院			1
総合研究大学院大学大学院			1
奈良先端科学技術大学院大学	4		1
長岡技術科学大学大学院		1	
計	29	15	20

(2) 過去3年の主な就職先

(就職率100% 令和2年度 求人数2,676件)

《本科》

(株) AXSEED
(株) JALエンジニアリング
(株) SUBARU
(株) 小松製作所
(株) ディー・エヌ・エー
(株) 日立産業制御ソリューションズ
(株) 明電舎
(独) 国立印刷局
(独) 水資源機構
DIC (株)
FDK (株)
NTT東日本グループ会社
出光興産 (株)
エリクソン・ジャパン (株)
キヤノン (株)
協和キリン (株)
熊谷市
群馬県
五洋建設 (株)
サントリープロダクツ (株)
信越化学工業 (株)
ソニーエンジニアリング (株)
ダイキン工業 (株)
大成建設 (株)
電源開発 (株)
日東電工 (株)
日本アイビーエムテクニカル・ソリューション (株)
東日本旅客鉄道 (株)
北海道旅客鉄道 (株)
本田技研工業 (株)
三井住友建設 (株)
三益半導体工業 (株)

《専攻科》

(株) 安川電機
(株) 資生堂
(株) 日立製作所
(株) 富士通マーケティング
DIC (株)
FDK (株)
キヤノンメディカルシステムズ (株)
三和工機 (株)
シャープ (株)
中外製薬工業 (株)
東京電力ホールディングス (株)
東日本高速道路 (株)
東日本積水工業 (株)
東日本旅客鉄道 (株)
日東電工 (株)
三菱ガス化学 (株)
三菱電機プラントエンジニアリング (株)

13 学費等

入学時に必要な学費は次のとおりです。

入 学 料	84,600円
授 業 料	117,300円 (年額234,600円のうち前期分)
学 生 会 費	5,000円 (年額)
教 科 書 代	約30,000円 (学科により異なります。)
教 材 費	約40,000円 (製図器具、作業着、白衣、体育着、その他)

※入学時・在学中に入学校料・授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。

注) 本校には学生の保護者を会員とする後援会があります。入会金20,000円、会費12,000円 (年額24,000円のうち前期分) となります。詳細は入学時にお知らせします。

14 奨学金制度

人物、学業ともに優秀であって、経済的理由により学費の支弁が困難と認められる者に対し、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。

令和3年度入学生の第一種奨学金（無利子）の貸与月額は次のとおりとなっています。

自 宅 通 学	21,000円
自宅外通学	22,500円

なお、4・5年生になると、月額20,000円程度増額される見込みです。

15 入学校料及び授業料の免除等

(1) 入学校料の免除

入学前1年以内において、本校に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という）が死亡し、又は本校に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学校料の納付が著しく困難であると認められる者、又はこれに準ずる場合であって校長が相当と認める者に対し、選考の上、入学校料の全額又は半額を免除することができます。

(2) 入学校料の徴収猶予

経済的理由によって納付期限までに納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、又は入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は本校に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに納付が困難であると認められる場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合は、当該入学に係る年度を越えない範囲で入学校料の徴収を猶予することができます。

(3) 授業料の免除

平成22年度から高等学校等就学支援金制度が導入されたことに伴い、1～3年生については、国から就学支援金（年額118,800円）が支給されます。この就学支援金は、保護者の所得によってさらに加算される場合があり、結果的に全額免除と同じとなることがあります。

（平成26年度入学生より、「所得制限」が導入され、一定以上の収入がある世帯（年収910万円程度）では就学支援金が支給されないこととなりました。）

なお、4・5年生については、令和2年4月から始まった修学支援新制度による支援があります。この制度では、授業料減免と給付型奨学金（原則返還が不要な奨学金）の2つの支援があります。

世帯の収入などの要件に合う学生が支援の対象となり、給付型奨学金の対象者は授業料の減免対象者となります。

16 寄宿生活について

本校敷地内に、学生のための寄宿舎があり、約140名の寮生が共同生活をしています。

寮務主事や当直の教員が指導助言に当たり、学生生活係の職員が施設の管理等を担当しています。日常生活は寮長以下の寮生会役員を中心に、自主的に行われています。寮生活は、協調性や自立心を養う上で、極めて有意義です。なお、入寮希望者は選考の上、入寮を許可しています。

所 在 地 〒370-0001 群馬県高崎市中尾町235番地（本校敷地内）
名 称 鴻志寮（男子）・藤寮（女子）
収容定員※¹ 143名（男子105名・女子38名）
経 費※² 寄宿料 1人部屋 800円（1か月）
食 費（3食） 約38,000円（ヶ月）
寮運営費 6,500円（ヶ月）

※ 1 コロナ禍の影響で、現在の2人部屋を1人部屋として使用しています。

本来の収容定員は180名（男子135名・女子45名）です。

※ 2 寄宿料等の改定が行われた場合には、改定時からの新料金が適用されます。

調査書の作成について

中学校等の校長は、調査書の作成を行うに当たっては、所属教員をもって調査書作成委員会等を組織し、その審議を経て、特に厳正を期してください。

1 作成に当たっての注意

- (1) 丁寧に記入してください。なお、必要に応じてゴム印、パソコンコンピュータ等を用いてもかまいません。
- (2) 記入する数字は、すべて算用数字を用いてください。ただし、現住所については、漢数字を用いてもかまいません。
- (3) 誤記等の訂正をする際は、2本線を引いて訂正し、中学校等の校長の印（私印）を押印してください。
- (4) 提出する調査書は、原本を複写したものに、中学校等の校長の職印を押印したものでもかまいません。
- (5) 生徒氏名の表記は、入学願書の文字と一致するよう配慮してください。
- (6) ※欄は記入しないでください。
- (7) 出欠の記録で5日以上の欠席がある場合は、欠席理由を記載してください。

2 様式

本校所定の用紙又は群馬県教育委員会の定める様式を用い、作成してください。用紙は複写したもの、電子ファイルから印刷したものでもかまいません。
なお、埼玉県にあっては埼玉県教育委員会の定める様式により同様に作成してもかまいません。
その他の地域の場合は下記へご相談ください。

3 記入上の注意

記載事項、記載要領等は、中学校生徒指導要録に準ずるものとします。また、不明な点については下記までお問い合わせください。

群馬工業高等専門学校 学生課教務係 TEL 027-254-9060 FAX 027-254-9080 E-Mailアドレス kyoumu@gunma-ct.ac.jp

写 真 票

受験地	推薦	1 本校
	学力	1 本校 2 熊谷
出願区分	3 最寄り地等()	1 推薦 2 一般(単願)

該当する箇所に○をつけてください。最寄り地受験の場合は、かつて内に「会場番号、会場略称」を記載してください。

写真欄に写真(裏面に氏名を記入)をはり付けてください。写真(白黒・カラーは問いません。)は、縦40mm・横30mmの大きさで出願前3か月以内に撮影した上半身無帽のものとしてください。検査当日に、眼鏡を使用する者は、眼鏡を着用した写真としてください。

写 真

40mm×30mm

写真の裏面に氏名を記入して、のり付けしてください。

受験地	推薦	1 本校
	学力	1 本校 2 熊谷
出願区分	3 最寄り地等()	1 推薦 2 一般(単願)

受験番号	※ 13 —
ふりがな 氏名	
出願区分	1 推薦 2 一般(単願)

該当する箇所に○をつけてください。最寄り地受験の場合は、かつて内に「会場番号、会場略称」を記載してください。

推薦入学者選抜

面接: 1月 20日(木)(予備日: 1月 21日(金))

集合時間は同封の通知を参照してください。

一般入学者・帰国子女特別選抜

学力検査: 2月 13日(日)

月	選抜種別	一般	帰国子女
8:30		受付開始	
9:00		集合	
9:30~10:20		理科	
10:50~11:40		英語	
12:10~13:00		数学	
13:50~14:40	星食・休憩	国語	
15:10~16:00	社会面接		

(切り離しでください。)

受験番号
※ 13- 氏名

「振込通知書」提出票

収納印のある「振込通知書(提出用)」
又は「振込依頼書(お客様控え(複写))」を、
はり付けてください。

「振込依頼書(お客様控え(複写))」は4つ折にして、はり付けてください。

写 真
40mm×30mm
写真の裏面に氏名を記入して、のり付けしてください。

令和 年 月撮影

第1志望		工学科	第2志望		工学科	第3志望		工学科
出願区分		1 推薦 3 一般(併願)	2 一般(単願) 4 帰国子女	受験地	1 本校 3 最寄り地等()	2 熊谷 3 最寄り地等()	受験地	1 本校 3 最寄り地等()
志願者	ふりがな 氏名	平成 年 月 日生						
	(必ず都道府県から記入してください)							
保護者	ふりがな 氏名	TEL ()						
	立 中学校 平成・令和 年 月 卒業・卒業見込							
現住所 (志願者と異なる場合のみ記入。 ただし、緊急連絡先(電話番号)は記入してください。)		学校名	TEL ()		本人との 続柄			
現住所 (必ず都道府県から記入してください)		所在地						
※電話番号は記入してください。 緊急連絡先TEL ()								

注意 ※欄は、記入しないでください。

- ※欄を除き黒又は青のボールペンを使用して記入してください(消せるボールペンは不可)。
- 志願者氏名欄は、志願者本人が記入してください。
- 入学願書、写真票及び受験票の出願区分欄は、いずれか1つを選んで○をしてください。ただし、推薦及び帰国子女特別選抜両方に出願する場合のみ両方に○をつけてください。なお、推薦及び帰国子女特別選抜は単願となります。
- 入学願書、写真票及び受験票の受験地欄は、いずれかを選んで○をしてください。最寄り地等受験制度の利用を希望する場合は、受験地欄の「最寄り地等」に丸を付け、機構ホームページの「会場一覧」を参照し、入学願書や受験票、写真票に、事前相談の結果、受け入れ可となった会場の「会場番号、会場略称」を記載してください。

【記載例: 最寄り地等(01函館高専)】

- 入学願書及び写真票の写真欄に写真(裏面に氏名を記入)をはり付けてください。
写真(白黒・カラーは問いません。)は、縦40mm・横30mmの大きさで出願前3か月以内に撮影した上半身無帽のものとしてください。
また、検査当日に、眼鏡を使用する者は、眼鏡を着用した写真としてください。

学力検査受験者心得

- 1 学力検査〔2月13日（日）〕は9：00までに検査場入口で受験票を提示し検査室へ入ること。
- 2 遅刻した場合、又は受験票を忘れた場合は係員に申し出ること。
- 3 20分以上遅刻した場合は、その教科の受験を認めない。
- 4 検査室に入ったら、各自の受験番号の席につき、受験票を受験番号票の横に置くこと。
- 5 机の上には、受験票、黒鉛筆（HB）、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム（カバーベルを外したもの）以外は置かないこと。時計、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機の使用は認めない。
- 6 学力検査の公正さを損なうおそれのある文字等が印刷されているものを、検査時間中に使用したり身に着けたりすることはできません（ハンカチ・膝掛を含む）。
- 7 カバン等は検査室内の指示された場所に置くこと。
- 8 検査開始後は、その教科の検査終了まで退室を許可しない。
- 9 検査時間中に気分が悪くなったときは、又はトイレに行きたいときは、手を挙げて監督者に申し出ること。
- 10 不正行為はしないこと。
- 11 検査終了後は、監督者の指示があるまで退室してはならない。

成績一覧表番号				調査書			受験番号	※ 13-	
1 学籍 の 記 録	ふりがな 氏名				性 別	現 住 所			
	平成 年 月 日生			卒業等			令和 年 月 日	卒業見込・卒業	
2 各教科の学習の記録						3 総合的な学習の時間の記録			
教科	観点別学習状況			評定			3 総合的な学習の時間の記録 4 特別活動等の記録 5 行動の記録 6 出欠の記録		
	観点	1年	2年	3年	1年	2年			3年
国語	ア								
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
社会	ア								
	イ								
	ウ								
	エ								
数学	ア								
	イ								
	ウ								
	エ								
理科	ア								
	イ								
	ウ								
	エ								
外国語	ア								
	イ								
	ウ								
	エ								
音楽	ア								
	イ								
	ウ								
	エ								
美術	ア								
	イ								
	ウ								
	エ								
保健 体育	ア								
	イ								
	ウ								
	エ								
技術 ・ 家庭	ア								
	イ								
	ウ								
	エ								
7 参考となる諸事項等の記録									

この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する。

令和 年 月 日

学校名

校長氏名

職印

注意 ※欄は記入しないでください。

受験番号	※ 13-
------	-------

推 薦 書

令和 年 月 日

群馬工業高等専門学校長 殿

所 在 地

学 校 名

学 校 長 名

校 長
公 印

下記の者は、貴校の「推薦入学者選抜」の出願資格を満たし、貴校への入学の意志が堅いので、責任をもって推薦します。

志望学科

工学科

氏 名

(平成 年 月 日 生)

令和

年

月

日

卒業見込

記入上の注意 (1) この推薦書は、「推薦入学者選抜志願者」のみに使用します。
(2) ※欄は記入しないでください。

受験番号	※ 13-
------	-------

令和 年 月 日

入 学 確 約 書 (単願用)

群馬工業高等専門学校長 殿

私は、群馬工業高等専門学校の入学者選抜に合格したときは、
所定の手続を経て必ず入学することを誓います。

受 験 者

保 護 者

印

上記の受験者は貴校入学の意志が堅く、必ず入学するものと
認めます。

学 校 名

学校長名

校 長
公 印

- (1) 出願書類とともに提出してください。
- (2) ※は記入しないでください。

受験番号	13-
------	-----

令和 年 月 日

入 学 確 約 書 (併願用)

群馬工業高等専門学校長 殿

私は、群馬工業高等専門学校に必ず入学することを誓います。

合 格 者

保 護 者

印

上記の合格者は貴校入学の意志が堅く、必ず入学するものと
認めます。

学 校 名

学校長名

校 長
公 印

(注) 併願による合格者で入学を希望する者は、この入学確約書（併願用）を入学手続日（令和4年3月9日（水））に
提出してください。受験番号も忘れずに記入をしてください。

検定料の振込について

令和4年度群馬工業高等専門学校入学者の選抜に係る検定料については、添付の本校指定の振込依頼書をご利用の上、振込期間内に振り込んでください。

つきましては、3ページ、7ページ及び12ページの注意点を参照してください。

また、振込の際には別途手数料が必要となります。

1. 検定料の振込は銀行窓口でお願いします。(下の切取線以下を切り離してお使いください)

2. 銀行の取納印をもつて本校の領収証書に代えさせていただきます。

3. 銀行の手続は出願に必要な書類等を郵送する前に必ず行つてください。

4. 振込金領収証書は、必要に上り時間がありますので十分ご注意ください。

5. 銀行によつては窓口営業時間が異なりますので十分ご注意ください。

6. ※の欄をご記入の上、銀行窓口へ提出してください。

本件に対するお問い合わせ先は 総務課財務係まで TEL: 027-254-9029

(切り離して使用してください。)

振込期間			
推薦			令和3年12月1日(水)～令和4年1月7日(金)
一般・帰国子女特別		令和4年1月17日(月)～	1月26日(水)

振込通知書(提出用)

依頼日	*	年	月	日	上記の金額正に受け取ました。 (取扱店)
金額		¥ 16,500			
振込先	群馬銀行 本店				銀行印
受取人	高専機構本部				印
志願者名	*				印
志願者所住	*				印
令和4年度 入学者選抜					印
本票は、出願期間内に出願書類と共に、群馬工業高等専門学校へ提出してください。 本票に、取扱銀行取納印がない場合は無効です。					

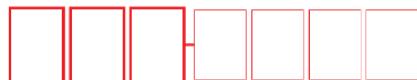
振込金領収証書(本人控)

依頼日	*	年	月	日	上記の金額正に受け取ました。 (取扱店)
金額		¥ 16,500			
振込先	群馬銀行 本店				銀行印
受取人	高専機構本部				印
志願者名	*				印
志願者所住	*				印
必ず窓口で振込手続をしてください。 ATMでは行わないでください。					

振込依頼書(取扱店控)

依頼日	*	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料	金額	内訳	現金	当手	他手	科 目
受取人	群馬銀行 普通	2308018						¥ 16,500					収納印又は振替印

速達



1. 374円分の切手をはり付け
てください。
2. 住所、氏名及
び郵便番号を
明記してくだ
さい。

受
験
票
在
中

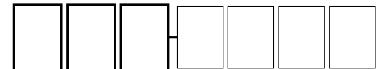
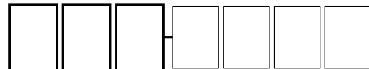
様

群馬工業高等専門学校 学生課教務係

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地
電話 027-254-9060

※
整 理
番 号

あて名票



様

様

※整理番号

※整理番号

あて名票 [このあて名票2枚に記入したら切り離さないで同封してください]

このあて名票は本校から受験者あてに通知する場合に使用するので番地まで楷書で正確に記入してください。

- 注意 (1) 団地などに住んでいる場合は、○○団地○○号棟○○番と明記しないと郵便物が届かないこともあるので必ず記入してください。
(2) 整理番号欄は、記入しないでください。

速達

3 7 1 8 5 3 0

切 手
はり付け

簡易書留

二ツ折嚴禁

推	一	帰国子女特別
薦	般	

（いずれかに○
を付けてください。
さい。）

差 出 人	在籍 (出身) 中学校等名	
	在籍 (出身) 中学校等 住 所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>

群馬県前橋市鳥羽町580番地

群馬工業高等専門学校
学生課教務係
行

※ 1願書1封筒使用のこと

この封筒の中に書類が入っているかどうか確認し、
チェックしてから提出してください。

確認欄			提出書類
推薦	一般	帰国子女特別	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 入学願書
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. 写真票・受験票・「振込通知書」提出票
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 調査書
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 入学確約書（単願用）※単願の方のみ
<input type="checkbox"/>	/	/	5. 推薦書
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 受験票返送用封筒
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. あて名票
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. 住民票の写し ※外国籍の方のみ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	成績一覧表

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地

独立行政法人 国立高等専門学校機構
群馬工業高等専門学校 学生課教務係

TEL 027-254-9060
FAX 027-254-9080

URL <https://www.gunma-ct.ac.jp/>